

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報
令和4年度第4四半期（令和5年1月～3月）

1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州、ビハール州、オディシヤ州、ジャールカンド州においては、これまで、極左武装勢力マオイストの脅威が存在してきたほか、国政与党BJPと西ベンガル州政与党AITC(TMC)間での衝突・抗争等により、死傷者を出す事件が発生しています。

今期は、主に以下のような事案が発生しました(当地紙報道による)。

【1月】

- 5日、ジャールカンド州ランチ(Ranchi)で、18歳から22歳の8人のマオイストが警察に自首しました。
- 7日、西ベンガル州ハウラー(Howrah)で、過激派組織ISISとつながりがあるとの疑いで男2名が警察に逮捕されました。
- 21日、西ベンガル州 Bagdogra 国際空港で、許可無く衛星電話を携帯していたとしてアメリカ人男性が警察に逮捕されました。
- 21日、西ベンガル州 North 24 Parganas 地区の Bhatpara の廃井戸から、警察は 150 個の粗製爆弾を押収しました。
- 29日、オディシヤ州 Jharsuguda で、州保健大臣がイベントに出席するために車で到着したところ、付近の警戒に当たっていた地元警察官の一人にけん銃で撃たれて死亡しました。
- 30日、西ベンガル州コルカタ市内ソルトレイクで、自宅近くを歩いていた男性が、オートバイに乗った2人組の男らから手に持っていた携帯電話を奪われました。
- 31日、西ベンガル州コルカタ市内 Baguiati で、高齢女性が自宅にて独りでいたところ、覆面をした男が侵入し、女性はハンマーの様な物で頭部を殴られ、現金と貴金属を奪われました。

【2月】

- 10日、ジャールカンド州 ランチ(Ranchi)で、州内で 104 の事件で指名手配され 150 万円の懸賞金が掛けられていたマオイストが警察に自首しました。
- 11日、ビハール州 Bhagalpur で、4人組が銀行に押し入り銀行員にけん銃を付けて現金を奪おうとしたが、警備員がライフルを発砲したところ、何も盗らずに逃走しました。
- 19日、ビハール州パトナ(Patana)で、元々対立していた2つのグループが、駐車方法を巡ってけん銃等の武器を使用した抗争を行い、2人が死亡、3人が重傷を負いました。

- 19日、西ベンガル州 South 24 Parganas で、TMC のリーダーが屋外で休憩していたところ、バイクに乗った3人組から銃撃され死亡しました。
- 21日、西ベンガル州 Jalpaiguri 地区で、20人の作業員を乗せたトラックと別のトラックが正面衝突し、3人が死亡、12人が重傷を負いました。
- 21日、ジャールカンド州 Chaibasa で、マオイストが仕掛けた即席爆発装置が爆発し、村人が負傷しました。
- 23日、ジャールカンド州 West Singhbhum で、マオイストが仕掛けたと思われる即席爆発装置が爆発し、女性が負傷しました。
- 23日、西ベンガル州 North 24 Parganas で、警察は情報に基づき捜索を行い、ドラム缶に隠された粗製爆弾30個を押収しました。
- 26日、ビハール州 Gaya のファルグ川のほとりで発見された爆弾が爆発し、解除作業をしていた5名の警察官が負傷しました。

【3月】

- 9日、西ベンガル州 Murshidaba で、男らが自宅で違法な爆弾を製造していたところ爆発し、1名が死亡、2人が重傷を負いました。
- 15日、西ベンガル州 North 24 Parganas で、TMC と BJP の支持者間で石を投げ合う等の抗争事件が発生し、2人が逮捕されました。
- 17日、オディシャ州 Nabarangpur で、マオイストは、新しい村の建設のために行政に協力しているとして38歳の男性を殺害しました。
- 26日、西ベンガル州コルカタ市内 Tiljara 地区で、7歳の少女が行方不明となり、後に近所に住む男の自宅から遺体となって発見されました。
- 27日、西ベンガル州コルカタ市内 Tiljara 地区で、7歳の少女殺害事件に関し、行方不明事案に対する警察の対応が遅いとして住民らが警察車両等に放火したり、列車の線路を封鎖したりなどして抗議活動を行いました。
- 30日、西ベンガル州ハウラー(Howra)で、ヒンズー教のお祭り中に敵対するグループが石を投げる等妨害したことから暴力事件に発展し、30人以上が逮捕されました。

2 邦人に係る一般犯罪情勢

令和元年度までは、邦人の旅行者をターゲットにしたぼったくりや強盗事件が複数件発生しました。令和2年度及び令和3年度においては、インド政府及び各州政府によるロックダウンのため、邦人の旅行者数や在留邦人の外出の機会が減少したため、邦人の一般犯罪被害は減少しました

令和5年1月から3月にかけても、当館では当館管轄地内における邦人の一般犯罪被

害情報には接しておりません。

しかし、これは、犯罪が根絶された訳ではなく、市中で邦人が加害者に遭遇する機会がコロナ禍前に比べて減少していることによるものであり、加害者は隙があるターゲットを常に探しています。

日本及びインド両国において、入国や行動の各制限が緩和されたことから、旅行や出張等で当地を訪問する邦人が徐々に増えつつあります。今後、邦人をターゲットにした犯罪が増加する可能性がありますので、十分に御注意ください。

強盗やひったくりだけではなく、旅行者に対して、声をかけてくる人物にも最大限用心し、不審な誘いや要求があった場合、断るか、それには応じず速やかにその場を離れる等といった対応も必要です。

たとえ、声をかけてきた人物と一緒にいる間、親切な振る舞いであったとしても、相手は巧みにだましてきている可能性があります。相手の突然の要求に不審を抱きながらも、これまでの経緯から信用した結果、被害に遭ってしまった事案がほとんどです。犯罪に巻き込まれないためには、常に細心の注意を払い、相手の言動に不審な点が認められた場合は、問題がないと判断されるまで従わないように心がけてください。

当地では、親しくなったと思った頃に、信用したインド人から高額な保証金の支払いを要求されたり、預けた貴重品を持ち逃げたりされるなど邦人の被害が多く発生しておりますので、引き続き御注意ください。

(1) 殺人

邦人被害の事件には接していません。

(2) 強盗

邦人被害の事件には接していません。

(3) 強姦

邦人被害の事件には接していません。

(4) 詐欺・ぼったくり等

邦人被害の事件には接していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件には接していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事案には接していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はありません。(了)